

宣伝の全体見渡す 効果考えデザイン (しごトーク内)

(第三種郵便物承認)

上毛

宣伝の全体見渡す



「きれいな物を作ることは誰でもできる。どう考えたかが一番大事で、それが結果に表れる」と話す岡田さん

おかだ・ひであき 高崎市出身。東京造形大研究科修了。マルキンアド勤務。日本グラフィックデザイナー協会正会員、県デザイン協会理事。

「どのような仕事か。社にはグラフィックやウェブサイトの、イベントなどを手掛けるデザイナーやアートディレクターがいるが、皆を統括するのがクリエイティブディレクターだ。具体的に教えてほしい。イベントを開きたいという依頼があった場合、そのイベントのテーマを決め、どう展示したら目立つかを考え、イベント空間を演出する。告知のためのポスターやウェブサイトなど、予算内で効果的に宣伝する方法も考える。」

「さまざまな仕事を社内デザイナーが分担して取り組む一方、クリエイティブディレクターは全体を見渡す役割を担っている。」

身の回りには、商品やサービスをPRするためのチラシやポスター、インターネット上のバナー広告など、さまざまな宣伝物があふれている。いかに人々の目を引きつけるか。マルキンアド(富岡市下黒岩)でクリエイティブディレクターとして働く岡田英明さん(42)は、日々新しいアイデアを探し、感性に磨きをかける。

マルキンアド
岡田 英明さん(42)

ある日の岡田さん

午前9時 出社。社内の清掃、ラジオ体操
9時半 ミーティング
9時40分 依頼主と電話で打ち合わせ。企画書作成、グラフィックデザインなどの業務
正午 月に1度の「ハッピーランチ」(社員同士の親睦を深めるため、くじ引きで決まった4人で昼食を取る制度。費用の一部は社が負担)
午後1時 依頼主の所へ企画案の説明に行く
6時 帰社。デザインなどの業務再開
6時半 社の周辺を同僚とジョギング
8時 帰宅

しごトーク

クリエイティブディレクター

X)

宣伝の全体見渡す 効果考えデザイン (しごトーク内)

楽所

月見

(第三種郵便物承認)

効果考えデザイン



が、今の仕事に共通している。

「この仕事で重要なのは何か。」

全体を多角的に見るといふ点では、博物館学芸員として働いた経験が生きているかもしれない。どんな企画展をしたら来場者が増えるか、どんな展示方法なら来場者の目を引きつけるかという考え方は、依頼者が求めている以上の結果を出すことだと考えている。

企業は、商品が思うように売れないとか、店が目立たないといった課題があつて、その課題を解決するために

状況を取り、最善の処方をするという意味で、医師の仕事に似ているとも思っている。

「やりがいを感じるの

必須条件ではない。年

年齢や経験だけでなく、才能の有無が左右するもの特徴といえる。

グラフィックやウェブデザイン、空間デザインなど、得意分野を持ち、デザイン会社に勤務したり、個人でデザイン事務所を開いたりする。

業界の競争は厳しく、デザインを基軸に



社員と打ち合わせをする岡田さん(左から2人目)。意見を出し合うと、相乗効果でより良いものが生み出されるという



太さの異なる筆記用具や思いついたアイデアを書き留める手帳、ノートは欠かせない。写真撮影はスマートフォンのカメラで

総合的に物を造る

「一括して受注できるのが当社の強み。この強みをさらに磨き上げるため、全体のレベルアップを図りたい。個人としては、有名な建築家と一緒に仕事する機会を持てるようになった。成熟した思考やものづくりを身に付け、質を高めた

【会社データ】富岡市下黒岩。1973年創業、96年に株式会社化。山田勝博社長。顧客の約8割が都内で、大手企業のウェブサイトのデザインなども多数手掛ける。